

講義コード	11C0116303	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員		開講期	
科目名	経済フィールドワーク2(鈴木A)					鈴木 輝隆		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	本講義では、調査対象をさまざまな視点から観察し、独自の分析を行い、国土や地域への認識を深めるとともに、とりまとめて他者に正確に分かりやすく伝える力を鍛錬することを第一の目的とする。調査対象は、原則として実際の自治・経済・産業活動が行われている都市や地域とする。対象とする都市・地域についてのデータ収集や分析を行った上で現地調査を実施することにより、座学では得られない経験を通じて、経済も含めて現実の社会について学ぶ。また、本講義での事前調査や分析はグループ単位で実施し、とりまとめてプレゼンテーションを行う。そのため、作業を通じたコミュニケーション能力や協調性、プレゼンテーション能力の向上に資する。								
到達目標	対象とする地域の魅力と経済・産業活動など、実際の現場に関する多角的な分析の視点を養い、データの収集や整理、関連情報のとりまとめ、プレゼンテーションの方法を学び、それらを実際に行う。また、調査手法だけでなく、フィールドワークに必要な事前準備を行い、調査を実践することで、準備などについて検証することができる。調査にあたっては、グループでの話し合いやとりまとめ分担などの協働作業を行うことができる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	当該内容についての確認および理解を深めるための復習を推奨する。授業中は原則として講義およびグループワークによる作業や議論が中心となるため、データ収集や資料のとりまとめなど各自の分担作業については授業時間外に行うことが必要となり、計60時間以上の授業外学修を実施することを推奨する。また、所定の授業時間以外に学外での現地調査を実施する。この現地調査への参加は必須である。								
授業計画	【第1回】 イントロダクション 【第2回】 グループワーク① 【第3回】 グループワーク② 【第4回】 調査結果の報告① 【第5回】 調査結果の報告② 【第6回】 調査結果の報告③ 【第7回】 調査結果の報告④ 【第8回】 グループワーク③ 【第9回】 グループワーク④ 【第10回】 作成したレポートに基づくプレゼンテーション① 【第11回】 作成したレポートに基づくプレゼンテーション② 【第12回】 作成したレポートに基づくプレゼンテーション③ 【第13回】 作成したレポートに基づくプレゼンテーション④ 【第14回】 各グループ間のディスカッション・ディベート① 【第15回】 各グループ間のディスカッション・ディベート②および総括								
成績評価の方法	①レポート、②学外フィールドワークへの参加(必須)、③課題提出、④グループワークへの貢献、⑤授業態度等の総合評価による。								
フィードバックの内容	授業内プレゼンテーションへの講評、グループワークや課題に対するアドバイス等を行う。								
教科書									
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	本講義は、「経済フィールドワーク1(鈴木A)」とのセット受講とする。 募集人数は12名程度とする。 履修者は、学外でのフィールドワーク(北海道東川町:3泊4日,9月11~14日を予定[変更の可能性有])への参加が必須である。 学外フィールドワーク費用(交通費・宿泊費・施設見学費など)のうち、履修者の負担分として30,000円程度を徴収する(金額は若干の増減可能性あり、原則として返金しない)。 学外フィールドワークに充てた時間を授業時間より振り替えることがある。 参考資料等は適宜指示する。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、原則として学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付ける。								
その他									